

令和3年度ノリ養殖概況

仲村尚人*・小野博行

養殖環境 漁期中の岡山市における降水量の推移を図1に示した。降水量は、10月は高気圧に覆われて晴れる日が多く、中・下旬に曇りや雨の日があったものの、平年より少なかった。11月は気圧の谷や前線、湿った空気、寒気の影響で曇りや雨の日があり、平年より多かった。12月から2月は高気圧に覆われて晴れの日が多く、平年より少なかった。3月は前線や低気圧の影響で中旬にまとまった雨が降り、平年より多かった。

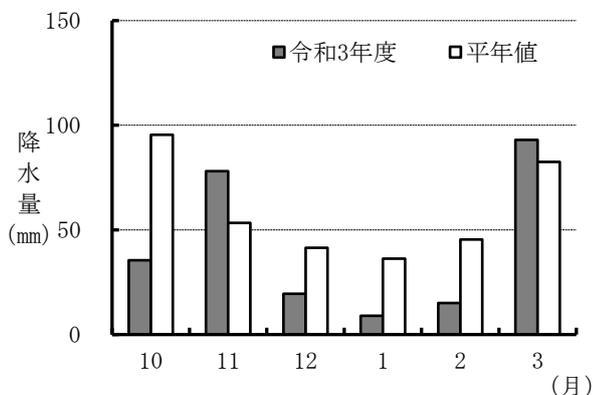


図1 令和3年度漁期月別降水量の推移
(岡山地方気象台)

牛窓沖水深2m層における日平均水温の推移を図2に示した。水温は、10月中旬は平年を1℃以上上回り、10月22日に育苗開始の目安となる23℃を下回った。その後も平年を上回る日が多く、11月11日に本張り開始の目安となる20℃を下回った。12月下旬以降は平年を下回る日が多く見られた。

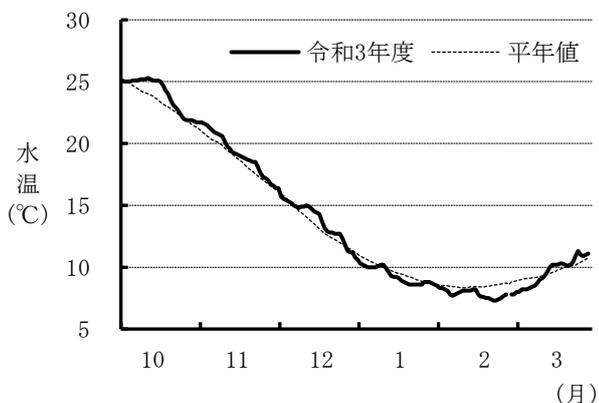


図2 令和3年度漁期牛窓沖水温の推移

漁期中のノリ養殖漁場における溶存態無機窒素(DIN)濃度の推移を図3に示した。DIN濃度は、10月上旬は*Coscinodiscus*属の増殖により2μMを下回ったものの、育苗開始前には5.9μMまで増加し、12月末までは概ね4μM以上で推移した。年明け以降は降雨がほとんどなく、*Rhizosolenia*属の増加も見られ、1月下旬には0.9μMまで急激に減少し、漁期終了まで1μMを下回る状態が続いた。

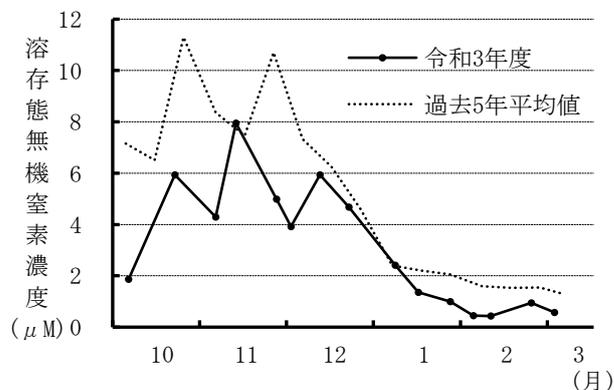


図3 令和3年度漁期溶存態無機窒素濃度の推移

養殖経過 漁期中のノリ養殖状況について、漁業者に聞き取り調査を行った。

育苗は、多くの漁場で10月25日前後の開始となり、概ね順調に経過した。

本張りは、11月18日頃から順次開始された。水島周辺では魚類による食害が原因と考えられるバリカン症様の症状が見られた他、犬島周辺では一部の漁場で生育不良が見られた。

生産は、水島周辺の一部では11月下旬から、その他の地区では概ね12月上旬から開始された。開始当初は品質の良い乾海苔が生産されたが、葉体が細くて柔らかく、小穴のある製品が目立った。1月以降はDIN濃度の急激な低下により、各地で葉体の色調低下が発生した。その後もDIN濃度は低めで推移し、色調の回復が見込めないことから、一部の地区を除いて3月上旬までに生産を終了した。

生産結果 色調低下による早期生産終了や共販で無札が多く発生したことから、生産枚数は前年を下回る

* 岡山県農林水産総合センター普及連携部普及推進課

約1.2億枚（前年比84%）となった。早期生産終了により終盤の色調が低下した製品の出品が少なかったこ

とから、平均単価は9.90円（前年差1.52円）となり、生産金額は12.2億円（前年比99%）となった。